

用語解説

【五十音順】

用語	説明
空き家バンク	空き家を売りたい・貸したいと考える所有者が登録した空き家情報を公開し、空き家を利活用したいと考える利用希望者とのマッチングを行う仕組み。
医療的ケア	自宅や学校等で行われている、導尿、インスリン投与などの医療行為。
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行。日本では、訪日外国人旅行や訪日旅行を指す。
エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民、事業主、地権者等による主体的な取組。
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるように、機械判読に適したデータ形式により、二次利用が可能なルールの下で公開されたデータ。
カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引き、温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにすること。
キャッシュレス決済	お札や小銭などの現金を使用せずに商品やサービスの代金を決済すること。決済手段には、クレジットカードやデビットカード、電子マネー、スマートフォン決済など、様々な手段がある。
行政情報分析基盤	行政が保有する住民情報などの業務データを活用して、証拠に基づくより良い政策立案を行うために運用するデータ分析システム。
グリーンボンド	地方自治体等が、地球温暖化対策や再生可能エネルギー等、環境改善効果を有するプロジェクトに充当先を限定して資金調達を行うために発行する債券。
グローバル人材	グローバルとは、「グローバル」と「ローカル」を意味する造語であり、国際的な視野を持ち、地域で活躍できる人材。
景観遺産	未来へ引き継ぎたい姫路らしい地域の特色ある景観の写真を募集し、選考によって登録したもの。
軽度認知障害 (MCI:Mild Cognitive Impairment)	正常と認知症の中間の状態のこと。適切な治療や認知機能トレーニングに取り組むことで、健康な状態に回復することが可能となる。
国際拠点港湾	国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾として港湾法に基づき政令で定めるもので、国際戦略港湾以外の港湾。
コミュニティ活動	日々の暮らしの中で、自主性と責任を自覚した、相互に信頼関係がある人々（集団）による、共通目標を実現するための活動。
コミュニティバス	住民の交通利便性を増進するため、自治体等が運営し、一定地域内で運行するバス。
コンベンション	大会や会議、学会、展示会など、共通の目的・テーマを掲げて一定の場所に集まる様々な催し。特に大規模なものを指す。
サステナブルツーリズム	訪問客、産業、環境、受け入れ地域の需要に適合しつつ、現在と未来の環境や社会文化、経済への影響に十分配慮した観光。

用語	説明
自治体ポイント	ボランティアや健康活動など、住民の公共的な意義を有する活動を推進・支援するため、マイナンバーカードを活用して買い物等で利用できるポイント（自治体ポイント）を付与し、地域における消費活動にもつなげようとするもの。
社会的障壁	障害のある人にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のもの。
消費者教育	消費者が消費生活に関する基本的な知識・技能を習得し、消費者被害等の危機を回避するなど、自ら判断、選択、行動できる自立した消費者を育成するために行われる消費生活に関する教育。
人流データ	人がいつ、どこに、何人いるのかを把握できるデータ。
水素ステーション	燃料電池自動車に水素を供給するための施設。
スポットワーク	短時間かつ単発の雇用契約のもとで働く就労形態。
スマートシティ	交通インフラや医療など、都市や地域の抱える諸課題について、ICT等の新技術を活用することで、暮らす場所や年齢、性別にかかわらず自身のライフスタイルやニーズに合った生活を送ることができる都市。
スマート農林水産業	ICT（情報通信技術）やロボット技術などを活用して、作業の省力化・効率化を実現する新たな農林水産業。
ソーシャルメディア	インターネットを利用して誰でも手軽に情報を発信し、相互のやりとりができる双方向のメディア。代表的なものとして、ブログ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、動画共有サイト、メッセージングアプリ等がある。
多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。
地域団体	自治会をはじめ、婦人会、老人クラブ、自主防災会など、地域を基盤とする団体。
地区計画制度	地域の実情に応じたまちづくりを進めるため、住民の生活に身近な地区を単位として、道路、公園等の施設の配置や建築物の建て方等について、地区の特性に応じてきめ細かなルールを定める都市計画法に基づく制度。
デジタル・ディバイド	パソコンやインターネットなどのICTを使いこなせる人とそうでない人との間に生じる待遇や機会、知識などの格差。個人間の格差のほか、地域間や国家間の格差も含まれる。
特別指定区域制度	市街化調整区域の地域住民が中心となって組織するまちづくり協議会が、地域の課題を解決する土地利用計画を作成し、市がその土地利用計画に基づき区域指定を行うことにより、地域の活性化等に必要な建築物の立地を可能とする、都市計画法に基づく制度。
二次交通	空港や駅など、拠点となる場所から観光地までの交通のこと。具体例として、姫路駅からの周辺観光ループバスやレンタル自転車などがある。
日本遺産	地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するもの。
パーク&ライド、サイクル&バスライド	交通混雑緩和のため、自動車を都市郊外の駐車場に駐車し（パーク）、鉄道、バス等の公共交通機関に乗り換え（ライド）、目的地に入るシステム。また、自動車からバスへ乗り換える場合をパーク&バスライド、自転車から鉄道（バス）へ乗り換える場合をサイクル&ライド（サイクル&バスライド）という。

用語	説明
パブリック・コメント	行政が施策に関する計画等を立案する過程で、その計画等の趣旨、内容その他必要な事項を公表し、これらについて提出された市民等の意見、情報を考慮して意思決定を行うとともに意見等に対する行政の考え方を公表する一連の手続。
播磨圏域連携中 枢都市圏	播磨圏域の8市8町（姫路市、相生市、加古川市、赤穂市、高砂市、加西市、宍粟市、たつの市、稲美町、播磨町、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町）が、対等な関係のもと連携し、圏域の魅力を高めるとともに、住民が安心して快適に暮らすことのできる圏域づくりを進めるもの。
播磨臨海地域道路	神戸市から播磨臨海地域を連絡し、太子町に至る延長約50kmの道路。国道2号バイパスの渋滞解消、広域的防災に資する道路ネットワークの確保とともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路として計画されている。
ビッグデータ	デジタル化やIoTの進展、ネットワークの高度化により、インターネットやスマートフォン等から得られる位置情報や行動履歴、消費行動等に関する膨大なデータ。
フードバンク	一般家庭や企業等から食品を寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動。
ファミリーサポートセンター	育児の援助を受けたい依頼会員と、育児の援助を行いたい提供会員（有償ボランティア）が、子どもを預けたり、預かったりする地域の子育て支援システム。
フィールドワーク	教育・研究機関などが現地で直接、見聞きして行う調査活動。
プレコンセプションケア	若い世代に妊娠・出産など自身の将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うことを促す取組。
歩行者利便増進道路制度	道路管理者が指定する、「賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度」のこと（通称：ほこみち）。「ほこみち」では、歩道の中に特例区域を設けることにより、歩行者の利便増進のために椅子・テーブルなど必要な機能を配置することができる。
包括連携協定	幅広い分野において、地方自治体と企業、学校等が相互に連携し、双方の資源を有効に活用した協働によって、地域が抱える社会課題を解決していくことを目的に締結する協定。
マイナンバー制度	行政の効率化、行政サービスの利便性向上、公平・公正な社会の実現のため、住民票を有するすべての人に、一人ひとり異なる番号（マイナンバー）を付番し、活用する制度。
夜間中学	義務教育を終了しないまま学齢期を超過した人、本国において義務教育を終了していない外国籍の人、不登校などさまざまな事情により十分な教育を受けられなかった人に対し、義務教育を受ける機会を実質的に保障するため、夜の時間帯等に授業を行う公立の中学校。
ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。
ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
リノベーションまちづくり	遊休不動産といった空間資源や創業希望者・地域住民、志のある不動産オーナーなどの地域の人的資源を活用して、地域の再生を図る取組。
歴史文化遺産	先人により育まれ現代まで伝えられてきた、知恵・経験・活動の成果及びそれが存在する環境を総体的に把握した概念。地域文化を構成する多様な価値観を持つ歴史的・文化的・自然的遺産を指す。

【英数字順】

用語	説明
AMR	Antimicrobial Resistance（薬剤耐性）の略。感染症に対して抗微生物薬が効かなくなる問題であり、対策が取られなければ、将来多くの人命が失われると予測されている。
CNP	Carbon Neutral Port（カーボンニュートラルポート）の略。「次世代エネルギー（水素・燃料アンモニア等）の大量・安定・安価な輸入・貯蔵等を可能とする受入環境の整備」、「脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化」、「集積する臨海部産業との連携」等に取り組むことで、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指す港湾。
CRC	Clinical Research Coordinator（治験コーディネーター）の略。臨床試験（治験）を円滑に進行させる専門職。主な役割は、被験者のケア、データ管理、治験責任医師や依頼者との調整。医学・薬学の知識、コミュニケーション能力、倫理的判断力が求められる。治験の質と信頼性向上、被験者の安全確保に貢献し、新薬開発において重要な存在。需要が増加しており、業務の高度化が進んでいる。
DMO	Destination Management/Marketing Organization（観光地域づくり法人）の略。多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人で、国の審査を経て登録されたもの。
DV	Domestic Violence（ドメスティック・バイオレンス）の略。配偶者（婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。）、交際の相手方など親密な関係にあり、又は親密な関係にあった者に対して身体的、精神的、社会的、経済的又は性的な苦痛を与える行為。
EBPM	Evidence Based Policy Making（証拠に基づく政策立案）の略。政策目的を明確化させ、その目的のため本当に効果が上がる行政手段は何かなど、「政策の基本的な枠組み」を証拠に基づいて明確にするための取組。
ESG	Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）を考慮した投資活動や経営・事業活動を指す概念。
EV	Electric Vehicle（電気自動車）の略。車載バッテリーに充電を行い、モーターを回して走る自動車。
FCV	Fuel Cell Vehicle（燃料電池自動車）の略。燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使い、モーターを回して走る自動車。
HACCP	Hazard Analysis and Critical Control Pointの略。食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。
ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。通信技術を活用したコミュニケーションを指す。
MaaS（マース）	Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレス（途切れず）に一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。

用語	説明
MICE (マイス)	企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。
PDCAサイクル	Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の四つの頭文字をとったもの。これら四つを主要な要素とする政策のマネジメント・サイクルをつなげていくことで、政策の改善や次の政策形成に活かしていく。
PFI	Private Finance Initiative (民間資金等活用事業) の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
RSウイルス感染症	RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症。
SDGs	2015年9月の国際連合のサミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された持続可能な開発目標をいう。17のゴールと169のターゲットが示されている。
RPA	Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション) の略。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。
2R	3R (リデュース、リユース、リサイクル) のうち、リサイクルに比べて優先順位が高いものの取組が遅れているリデュース、リユースを特に抜き出して「2R」としてまとめた呼称。
3R	廃棄物の発生抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再生利用 (Recycle:リサイクル) を総称した呼称。
6次産業化	1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

姫路市総合計画

ふるさと・ひめじプラン2030

実施計画（令和8年度～令和10年度）

令和8年（2026年）6月

■発行／姫路市 政策局

〒670 - 8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL : (079) - 221 - 2383

URL : <http://www.city.himeji.lg.jp>